

登園届 (保護者記入)

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子供たちが1日快適に生活出来ることが大切です。

保育園児がよくかかる下記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園の際には、登園届の提出をお願いいたします。なお、保育園での集団生活に適用できる状態に回復してから登園するようご配慮下さい。

(登園の目安は、子供の全身状態が良好であることが基準となります。)

中清戸保育園園長 殿

園児名 _____

※感染症名に○印をお願いします。

○印	感染症名	登園のめやす	感染しやすい期間
	溶連菌感染症	抗菌薬内服後24～48時間経過していること	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間
	マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間
	手足口病	発熱や口腔内の水泡、潰瘍の影響が無く、普段の食事が取れること	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間
	伝染性紅斑(りんご病)	全身状態が良いこと	発しん出現前の1週間
	ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、 ロタウイルス、 アデノウイルス等)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事が取れること	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスが排出しているので注意が必要)
	ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水泡、潰瘍の影響がなく、普段の食事が取れること	急性期の数日間(便の中に1ヶ月程度ウイルスを排出しているので注意が必要)
	RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと	呼吸器症状のある間
	帯状疱疹	すべての発疹が痂皮化していること	水泡を形成している間
	突発性発疹	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと	

※アデノウイルスの病気は、プール熱、流行性角結膜炎があります。意見書が必要です。

(医療機関名) _____

(年 月 日受診)

において、症状が回復し、集団生活に支障が無い状態と判断されましたので、 年 月 日より登園します。

年 月 日

保護者名 _____

印